

# 中之島地域戦略プラン

## はじめに・現状

### ■中之島地域戦略プランの目的

国際的な業務・文化・芸術・交流拠点を形成する「水都大阪のシンボルアイランド」として、官民が連携し未利用地の土地利用転換を図りながら、持続的に活力を生み出していくための基盤となるプランを目指す。今後、「中之島地域戦略プラン」をもとに、周辺地域と連携を図りながらエリア全体の魅力を高め、人々のクリエイティブ・ライフを支えるまちの実現を目指す。

### ■中之島エリアの現状分析

#### ① 歴史

蔵屋敷が軒を連ねた江戸時代以降、経済だけでなく、文化や教育でも先進的な取組を重ね、大阪の中心地として繁栄してきた



中央公会堂

#### ② 上位計画の位置づけ

グランドデザイン・大阪などにおいて、水都大阪のシンボルアイランドとして位置付けられている



グランドデザイン・大阪(2012年)

#### ③ 土地利用

特定都市再生緊急整備地域に指定されており、歩行者空間の充実を図りながら水辺景観に配慮した都市開発が進められている



越中橋から眺め

#### ④ 景観形成

大阪市景観計画において重点届出区域に指定されており、中之島公園、土佐堀川、堂島川が景観重要公共施設と位置付けられている



中之島公園

#### ⑤ 人口

近年はオフィスワーカーを中心とする昼間人口だけでなく、6丁目を中心に高層の集合住宅が開発されたこともあり夜間人口が増加している



中之島の人口・世帯数の変化

#### 参考：評価

2020年10月発表の「SUUMO住んでいる街 実感調査 2020関西版」では、各項目で上位にランクインし、魅力が評価されている

- 住民に愛されている街(駅)ランキング
  - 1位 苦楽園口
  - 2位 中之島
  - 3位 甲陽園
- 今後発展しそう感じる街(駅)ランキング
  - 1位 新福島
  - 2位 福島
  - 3位 中之島

## 取組状況

### ■外国企業等呼び込むための地域戦略（中之島地域部会 2016年策定）の取組状況

2016年策定の地域戦略に基づき、官民で着実にまちづくりに取り組んでいるが、なにわ筋線の事業決定や新規施設の整備など、新たに考慮すべきまちの動きが生じているため、今後の取組について改めて検討が必要である

外国企業等呼び込むための地域戦略	現状	関連する構想・計画・取組等	新たな視点
<b>【ビジョン】</b> グローバルな企業、人材、情報を集積させるため、地域に蓄積した歴史、文化と快適で美しい水辺の都市環境を活かした多様な国際交流エリアを整備		・環境先進都市(2005・中之島まちみらい協議会) ・魅力活力創造都市(2008・中之島まちみらい協議会) ・中之島まちづくり構想(2013～・中之島まちみらい協議会)	
<b>【1 国際的ビジネス環境整備】</b> (1)グローバル企業に選ばれる国際交流エリアの整備を促進 ①国際的な都市型MICE拠点としての機能強化 ②グローバル・ハイエンド人材の確保 ③歩行者ネットワークの充実などの都市環境の整備 ④環境や安全・安心に配慮した持続的なまちの運営を実現 (2)外国人の移動・情報・滞在・居住環境の整備 ①サイン案内板の整備 ②広域交通ネットワークの早期形成 ③外国人が長期滞在できる環境の整備	①大阪府立国際会議場リニューアル(2020) ②未来医療国際拠点の整備(2024春開業予定) ③中之島3丁目四季の丘から大阪中之島美術館、国立国際美術館への歩行者デッキ整備(2022年2月整備予定) ④都市再生安全確保計画にもとづくエリア防災の活動(継続中) 河川水利用地域冷暖房システム等の先進的・省エネルギー技術導入の推進(2・3丁目からのネットワーク延伸中)	・大阪におけるMICE推進方針(2017・大阪MICE推進委員会) ・中之島地域 都市再生安全確保計画(2016・中之島地域部会) ・中之島環境ビジョン(2010・中之島eco2連絡協議会) ・Smart Future Island NAKANOSHIMA(2017・中之島まちみらい協議会)	新規施設の整備および計画が進行中
<b>【2 シティセールス】</b> (1)プロモーション・ツールの整備 ①HP・情報誌・パンフレット等の整備によりPR ②都市模型の制作 (2)国内外におけるシティセールスの展開 ①国内外の展示会等への出展 ②エリア発の国際的イベントの実施 ③中之島地域への企業誘致体制の整備	・大阪大学中之島センターのアゴラ構想による改修計画(2023) ・MIPIM JAPAN -ASIA PACIFICにおけるシティセールス(2016)	・中之島アゴラ構想(2016・大阪大学) ・クリエイティブ・アイランド中之島(2020～・クリエイティブアイランド中之島実行委員会)	なにわ筋線の事業決定 居住者の増加
<b>【3 都市機能の充実】</b> (1)中之島フェスティバルタワー・ウエスト (2)新しい美術館の整備	・中之島フェスティバルタワー・ウエストの開業(2017) ・こども本の森 中之島の開業(2020) ・大阪中之島美術館の整備(2022年2月開館予定) ・新駅の整備(2031年春予定) ・小中一貫校(2024年度開校予定)		新規施設の整備・開業 新駅整備の決定 居住者の増加

地域戦略と地域の変化の擦り合わせが必要

### ■主なエリア活動主体

(一社) 中之島まちみらい協議会

中之島ウエスト・エリアプロモーション連絡会

クリエイティブアイランド中之島実行委員会

## 施設整備計画および今後見込まれる変化

### ■新たな施設整備と歩行者ネットワーク

- 教育** 小中一貫校(2024年度開校予定:6丁目)
- 文化** 大阪中之島美術館(2022年2月開館予定:4丁目)  
大阪大学中之島センター改修(2023春完了予定:4丁目)
- 産業** 未来医療国際拠点(2024春開業予定:4丁目)

未来医療の産業化・国際化に寄与する“知の循環”を促進する施設として、MICE施設や企業・研究機関等の交流・連携スペースなどを備える

**交通** なにわ筋線新駅(2031春開業予定:4,5丁目)

### 歩行者ネットワーク

中央公会堂周辺道路の歩行者空間化や大阪中之島美術館整備に伴う歩行者デッキの延伸など、歩行者ネットワークの整備が進められている



大阪中之島美術館

未来医療国際拠点

小中一貫校

※イメージパースは基本設計段階のものです



こども本の森 中之島

大阪中之島美術館と周辺施設をつなぐ歩行者デッキ整備

歩行者空間化(公園化)の整備を進める中央公会堂前

### ■広域での中之島の位置づけ

なにわ筋線の開通により、関西国際空港や新大阪駅とのアクセスが大幅に改善し、国内外における中之島の位置づけを向上させる可能性がある



なにわ筋線開通を機に各所へのアクセスが向上する

【なにわ筋線について】  
北梅田駅(仮称)とJR難波駅及び南海本線新今宮駅をつなぐ新たな鉄道路線  
※利用見込み…約24万人/日

### 参考：新型コロナウイルス感染症の経験

新型コロナウイルスの経験により、都心でありながら屋外環境に恵まれた中之島の環境が見直される可能性がある



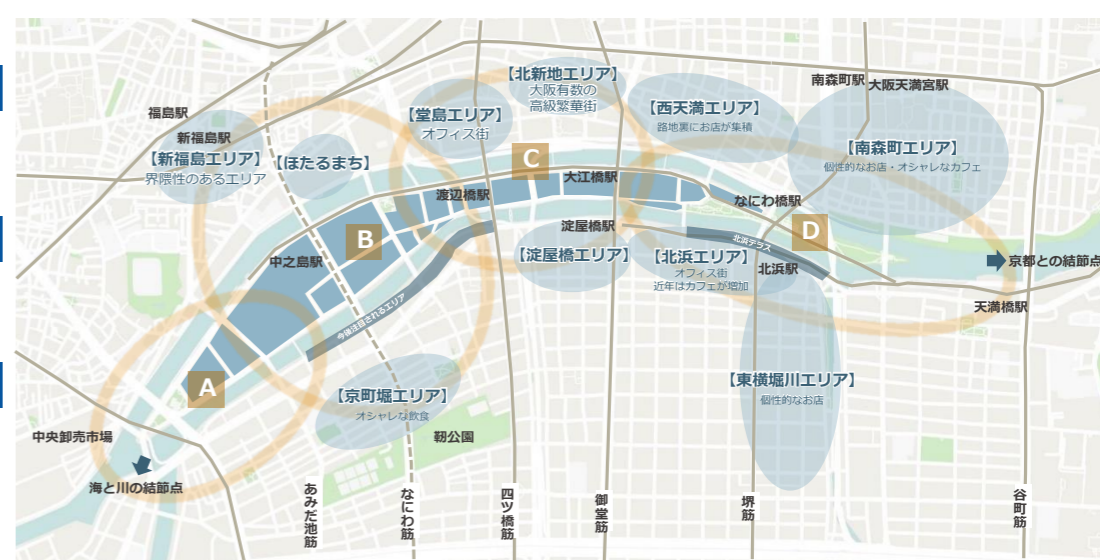
豊かなオープンスペースがひろがる中之島公園

## 地域特性によるゾーン分け

### ■ゾーン分けのポイント

- ポイント①** 現状の空間構成要素および機能・用途により分類
- ポイント②** 周辺のエリアと連動した4つのゾーンを設定
- ポイント③** 誘導機能だけでなく、今後そのエリアで生み出したいシーンを検討

### ■各ゾーンの特性



	Aゾーン	Bゾーン	Cゾーン	Dゾーン
<b>空間構成要素</b>	・中之島公園や両岸の遊歩道など閑静な空間がひろがっている	・両河川の間隔が広く、比較的大きな街区のなかに開発用地がひろがっている ・北側の川岸に遊歩道が整備されている	・両河川の間隔が狭く、比較的小さい街区に高層建築がちな都市景観を形成している ・両岸に遊歩道が整備されている	・大阪市役所や中央公会堂など歴史ある建物がつなっている ・対岸には、北浜テラスや八軒家浜など水辺に開いた空間が整備されている
<b>機能・用途</b>	・関西経済連合会や関西経済同友会など関西を代表する経済団体が集積している ・6丁目を中心に住民が増加しており、2024年には小中一貫校の開校が予定されている ・中之島の対岸には、中之島ゲートパークや中央卸売市場が立地している	・国際会議場や対岸の堂島リバーフォーラムなどがMICE機能が集積している ・国立国際美術館をはじめ文化施設が立地し、大阪中之島美術館の開業が予定されている ・なにわ筋線の開通に向け、市有地や民間敷地で開発が予定されている	・渡辺橋駅を中心にオフィスや宿泊施設など都市機能が集積している ・中之島雪雲美術館やフェスティバルホールなど、文化施設が立地している	・中之島公園に加え、歩行者空間化進んでおり、豊かなパブリックスペースが広がっている ・市立東洋陶磁美術館やこども本の森 中之島など文化施設が立地している



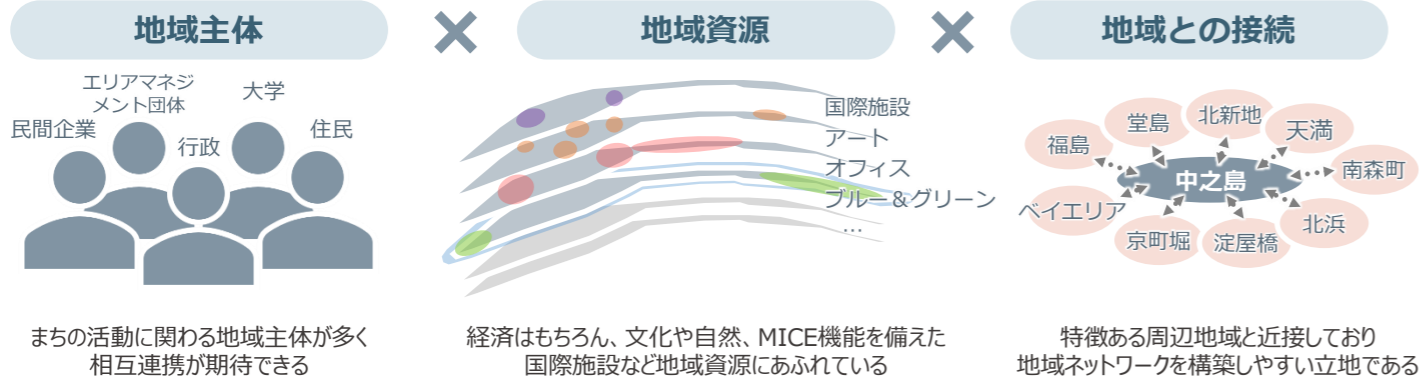
# 中之島地域戦略プラン

## 中之島全体で共有するエリアの方向性

### ■エリアの方向性

2000年代以降インフラ整備が進み、ビジネス・文化などの都市機能が集積するなか、なにわ筋線の開通や新たな施設整備により高まるポテンシャルを活かして、一層魅力的な都市空間づくりに繋げていく必要がある。

### 多彩な要素が複層するエリア



## 水都大阪のシンボルアイランド 中之島 ~ビジネス・文化・自然の融合が生み出すクリエイティブ・ライフ~

新たな機能集積や空間形成が、中之島の地域資源である自然と融合し、多様なものを結び付け、人々の感性を刺激しながら、新たな価値を生み出していく

### ■エリアの方向性実現に向けた4つの目標と8つの重点施策

目標1	目標2	目標3	目標4
<b>まちと水辺の 境界性創出</b> 水辺の魅力を最大限生かす景観形成やヒューマンスケールの空間づくり・活用を通じ、回遊の楽しいエリアを創出する 重点施策 歩行者ネットワークの形成 水辺を生かした空間づくり	<b>クリエイティブの 共創によるエリア活性化</b> 既にある資源に加え、新たな動きを生かし、個別ではなくエリア全体の魅力創出に結び付けるエリア運営に取り組む 重点施策 アートを核とした都市活動の展開 クリエイティブのネットワーク化	<b>グローバル視点での 魅力向上</b> 国際的な役割を果たす施設の増加や広域からのアクセス改善を見据え、グローバルな視点での魅力づくりを加速する 重点施策 都市型MICE機能の強化 国内外におけるシティプロモーションの実施	<b>ビジネスと居住を支える 都市インフラ整備</b> ビジネス街としての基盤に加え、新たに増加する生活者の視点や都心居住へのニーズを踏まえた都市インフラを実現する 重点施策 ICTを活用したスマートアイランドの実現 エリアコミュニティの醸成
各ゾーンのコネクトへ展開			

## 水都大阪のシンボルアイランド 中之島 ビジネス・文化・自然の融合が生み出すクリエイティブ・ライフ

## ゾーンコンセプト

### ■Aゾーン

#### コンセプト

### 「コミュニティ」と「ライフスタイル」を育む リバーフロント

中之島西端に位置する海と川の結節点として、食や夜間景観の魅力に満ち、教育環境も整った豊かな水辺の暮らしが味わえるエリア

#### 生み出したいシーン



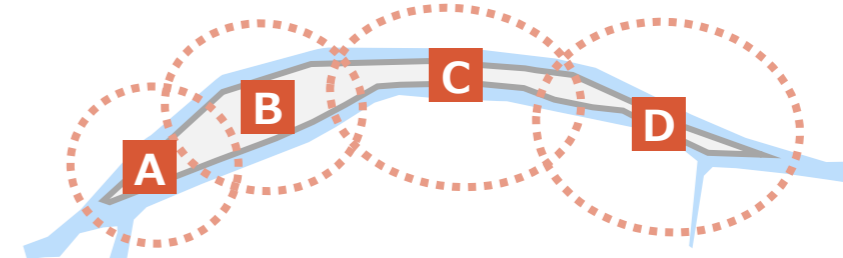
### ■Bゾーン

#### コンセプト

### 「アート」と「多文化」を巡る 交流の場

目的地となり得る多様な用途が集積し、対岸を含めた回遊を楽しむことのできるエリア  
 国際色豊かな様々な文化が生み出す彩りを感じる空間

#### 生み出したいシーン



### ■Cゾーン

#### コンセプト

### 「働く」と「楽しむ」が重なる ビジネスフィールド

オフィス機能が集積しながらも、憩いを感じる親水性の高い空間が近接し、潤いある時間と日常が誘発されるビジネスエリア

#### 生み出したいシーン



### ■Dゾーン

#### コンセプト

### 「探究」と「余暇」を楽しむ パブリックスペース

文化を感じられる歴史ある施設が連なるなかで、緑と水辺の自然が一体的となって、豊かな寛ぎを可能にするパブリックスペース

#### 生み出したいシーン





# 中之島地域戦略プラン

### 目標1 まちと水辺の界索性創出

#### 重点施策①：歩行者ネットワークの形成

**課題** 歩行者ネットワークが未整備な部分があり、島内回遊や界索性を創出する仕組みが完成していない

**対策** 魅力ある歩行者ネットワークの整備により、中之島を東西に快適かつ安全に回遊できる仕組みを構築する

##### (1)歩行者空間を拡大する

- 島の中央部を東西に貫き回遊性を向上させる中央緑道構想の実現など、歩いて楽しいまちを目指す
- 川沿いの遊歩道から、建物へアプローチする歩行者デッキを創出し、水辺へのアクセス性を改善する



中之島が有する豊かな歩行者ネットワーク

##### (2)新駅周辺・沿道のにぎわいをつくる

- なにわ筋線の開通に併せて、駅前に多様なアクティビティを生み出す広場を整備する
- なにわ筋沿いの新たな開発の足元に店舗を配置し、にぎわいを連続させる



マルシェやオープンカフェなどの開催



多様なアクティビティの展開により新駅周辺のにぎわいを生み出す

#### 重点施策②：水辺を生かした空間づくり

**課題** 水辺に開いた建築が点在する一方で、地上レベルから水辺を感じることのできるポイントが少ない

**対策** 中之島の特色である水辺空間を、対岸とも連携しながら様々な形で活用し、魅力ある空間を構築する

##### (1)川沿いの遊歩道をつなげる

- 中之島歩行者専用道2号線など、遊歩道の整備を中心に、川沿いのネットワークを構築する
- 川にせり出したテラス席や船からもアクセス可能な水上建築など、水辺空間を楽しめる場所を生み出す



中之島BANKS

##### (2)島らしさを醸成する景観を創出する

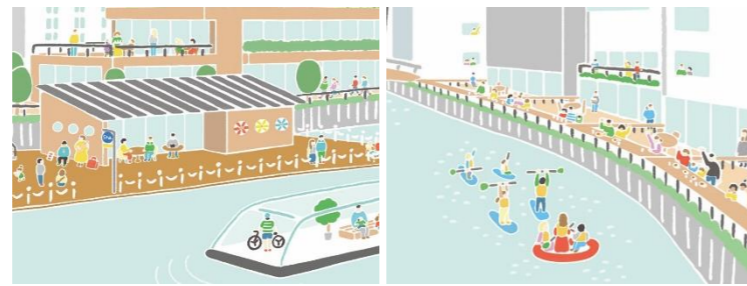
- 陸地だけでなく、船など川からみる景色を意識した景観形成を行う
- 橋梁や護岸、近代建築のライトアップなど、水辺の印象的な顔づくりに努める
- 中之島の「島らしさ」を表現するスカイライン形成のためのルールを検討する



中之島の夕景



豊かな親水空間を創出し人々と川の関係性を生み出す



船着場と水上建築

川にせり出したテラス席

### 目標2 クリエイティビティの共創によるエリア活性化

#### 重点施策③：アートを核とした都市活動の展開

**課題** 中之島エリアにおけるアート、ミュージアムなどの多くの文化施設、豊かなパブリックスペースをエリア全体の魅力創出に活かしてきていない

**対策** 多彩な文化施設やオープンスペースをエリアの資源として再認識し、多方面に発信できるコンテンツとして魅力度を付加する

##### (1)アート活動を推奨し、魅力を世界へ発信する

- 中之島の各所でアートや文化を感じられる取組を推進する
- アートの展開で誰もがやりたいことをチャレンジできる都市であることを感じられるようにする



アート活動が展開される風景

##### (2)文化施設・公園・水辺空間・道路空間を一体的に活用したパブリックスペースを創造する

- 中之島エリアを舞台に様々な公共空間×アートのコラボレーションを実施し、中之島にしかないパブリックスペースを創造する
- 中之島エリアを訪れた瞬間からアートや文化の要素を感じられるようにする



公共空間×アートのコラボレーション

#### 重点施策④：クリエイティビティのネットワーク化

**課題** 多彩な文化施設を有し、新規施設開業も控えている一方で、中之島全体、またテーマ横断的にエリアマネジメントを実施するハードルが高い

**対策** 各エリアにおけるクリエイティビティのネットワーク化により、中之島全体のクオリティコントロールとエリアブランディングを図る

##### (1)文化施設を中心としたアートエリア運営を検討する

- 中之島のなかでも特に美術館が集積する4丁目において、国立国際美術館と大阪中之島美術館を核としたエリアマネジメントを検討する
- 今後の新規開発においても、アートの要素を積極的に組み込むことで、エリア内のプレイヤーを増やしていく



大阪中之島美術館（2022年2月開館予定）

##### (2)各エリア間クリエイティビティの横くし連携を図る

- 今後、新規施設の開業や居住者の増加に伴い、各エリアの特性に応じたエリア運営の展開が期待される
- 将来的に、各エリア間クリエイティビティの連携を促進し、中之島エリアのプロモーションなど横断的な取組に結び付けることを目指す



アートを活かしたエリアプロモーション（台湾 文創園区の例）



大阪市立科学館

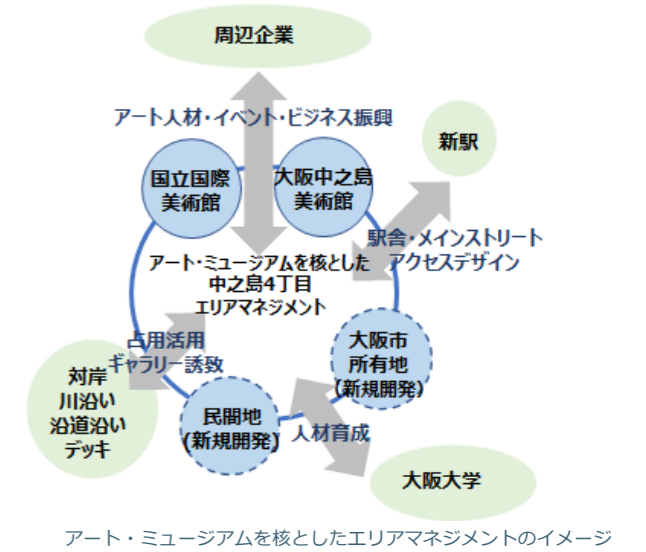
大阪市立東洋陶磁美術館

国立国際美術館

大阪府立中之島図書館

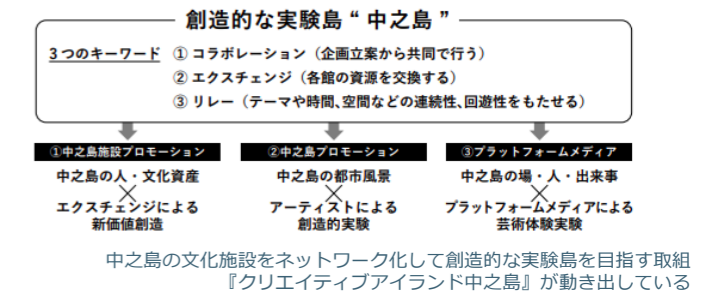
アートエリアB1

中之島香雪美術館



アート・ミュージアムを核としたエリアマネジメントのイメージ

#### クリエイティブアイランド中之島事業コンセプト



中之島の文化施設をネットワーク化して創造的な実験島を目指す取組『クリエイティブアイランド中之島』が動き出している



# 中之島地域戦略プラン

## 目標3 グローバル視点での魅力向上

### 重点施策⑤：都市型MICE機能の強化

**課題** 大規模な国際会議場や宿泊施設が立地している強みを活かし、様々なMICEニーズに対応できる更なる魅力強化の取組が必要である

**対策** 未来医療国際拠点など都市型MICE拠点としての機能強化に向け、新規開業施設と連携したハード、ソフト両面での受入体制の強化を行う

#### (1)MICE受入環境を整備する

・外国語表記を含む、シンプルで分かりやすいサインや案内板を整備する



・言語や文化の違いを超え、多様な人々を受け入れる環境整備を進める



世界中の人々に安心して快適な食体験を可能にする食品表示イラスト



充実した音響、照明、映像、同時通訳設備を備えた特別会議場や約2,800名収容可能なメインホールをもつ大阪国際会議場



歴史的建造物や公共空間などで地域特性を演出するユニークベニュー  
2024年春開業の未来医療国際拠点にはカンファレンスセンターの設置が予定されている

#### (2)文化施設や水辺を活用したユニークベニューを創出する

・文化施設や水辺空間を活用した中之島ならではのユニークベニューを創出し、国際会議誘致などのアピールポイントとする



大阪国際会議場とリーガロイヤルホテルは連絡通路で連結し、機能補完が可能

・産学官が連携し、国際的な会議や文化交流イベントを誘致する

### 重点施策⑥：国内外におけるシティプロモーションの実施

**課題** 関西、大阪、さらには中之島のブランド力が相対的に低く、「水都大阪のシンボルアイランド」としての魅力が国内外に十分に訴求出来ていない

**対策** 「大阪におけるMICE推進方針」のなかで主要MICE拠点として位置づけられており、産学官関係者が連携し、シティセールスを国内外で展開する

#### (1)プロモーションツールを整備する

・グローバル企業やハイエンド人材に中之島エリアへの関心を持ってもらうためにHPなどで情報を発信する



中之島まちみらい協議会により運営されているWebサイト

・展示会出展などの際に中之島エリアの魅力伝えるパンフレットを制作する



中之島の魅力を伝えるパンフレットの作成



展示会に出展し中之島をPR

#### (2)外国人が長期滞在できる環境を整備する

・中之島エリアへ企業を誘致するため、関係施設・関係機関の連携を強化する



外国人に対応したサービスアパートメント

・外国人が長期滞在できる環境としてサービスアパートメント・賃貸住宅などを整備する



多様な滞在スタイルを提供することで来街のきっかけを増やす



## 目標4 ビジネスと居住を支える都市インフラ整備

### 重点施策⑦：ICTを活用したスマートアイランドの実現

**課題** 各種インフラの整備が進められているなかで、環境や安全・安心に配慮した持続的なまちの運営が求められている

**対策** 既存の各種インフラにICTを活用した最先端技術等を導入することで、モデルケースとなりうるスマートアイランドを実現する

#### (1)環境性の高いモビリティにより快適な移動を実現する

・快適な島内移動（回遊）を可能とする脱炭素型交通システムの導入を目指す



中之島の特性を活かした移動サービス(株式会社e5ラボ提供)

・ICTを活用した島内外最適運用（シームレスな連携・移動、混雑回避、ピークシフト他）を図る

#### (2)多様なエネルギーのネットワーク化・マネジメント高度化により持続可能なまちづくりを推進する

・クリーンエネルギーの利用やエネルギー効率の向上により脱炭素社会の実現を目指す



河川水を利用した地域冷暖房システム

・エネルギーマネジメントの高度化による災害時も含めたエネルギーの安定供給の実現を図る

### 重点施策⑧：エリアコミュニティの醸成

**課題** 6丁目を中心に住民が増加するなかで、スムーズな情報共有や地域活動に関わることのできる仕組みづくりが求められている

**対策** 企業間だけでなく企業と住民、あるいは住民相互のコミュニケーションの醸成を図り、結束力のあるコミュニティを構築する

#### (1)エリア防災等に関して自助・共助・公助体制を構築する

・ICT利活用含めハード、ソフト両面から災害に強いまちづくりに取り組む

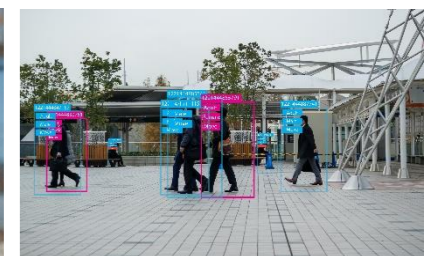


新型コロナ禍版のガイドライン(大阪市 令和2年5月作成)

・新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ、今後の避難スペースや防災の在り方を検討する



ドローンを活用した災害時の情報収集



カメラ・センサーを活用した災害時の異常混雑・滞留状況の把握

#### (2)多様な都市活動の実践でまちに活気を生み出す

・各種団体により実施されている様々なイベントを継続的に実施し、コミュニティを育む



中之島なまつり

・大阪で活動するエリアマネジメント団体や全国の団体と連携し、さらなる活力とにぎわいを生み出す



他エリア・他団体との連携

・産学官と地域コミュニティの連携を図り、次世代の担い手を育む



教育を通じたまちと住民の連携



	短期(2021-2024)	中期(2025-2030)	長期(2031-)
<b>新規開発などの動き</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2022年2月 大阪中之島美術館開館</li> <li>● 2023年 大阪大学中之島センター改修</li> <li>● 2024年春 小中一貫校開校</li> <li>● 2025年 大阪・関西万博開催</li> <li>● 未来医療国際拠点開業</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2031年春 なにわ筋新線開通</li> <li>● 新駅及び周辺整備</li> </ul>
<b>【目標1】 まちと水辺の界索性創出</b>	<b>先行的な歩行者ネットワークの整備</b> <b>中長期の取組に向けた検討</b>	<b>歩行空間化や水辺を生かした空間の整備</b> <b>新駅周辺の整備</b>	<b>中之島全体での歩行者ネットワーク構築</b> <b>エリア価値を高めるルールの運用</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪中之島美術館・未来医療国際拠点整備に伴う歩行者ネットワークの構築（3・4丁目）</li> <li>・未利用地活用案の検討</li> <li>・開発を想定した交通調査の実施</li> <li>・広場や水辺の活用案の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なにわ筋線開通に向けた中央緑道構想などの実現による歩行者ネットワークの構築（4・5丁目）</li> <li>・駅周辺の整備や未利用地の開発、なにわ筋沿道・美術館へのアプローチの整備（4・5丁目）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中之島全体の歩行者ネットワーク構築・水辺空間整備</li> <li>・「島」らしさを醸成する取組</li> </ul>
<b>【歩行者空間面積】</b>	[1,000㎡以上整備]	[2,000㎡以上整備]	[3,000㎡以上整備]
<b>【目標2】 クリエイティビティの共創によるエリア活性化</b>	<b>中核施設を核としたエリア運営の検討</b>	<b>新たな開発との連携を促進するエリア運営の制度化</b>	<b>各エリアにおけるクリエイティビティのネットワーク化による中之島エリアブランディング</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪中之島美術館を契機としたアートを活用したエリア運営の検討</li> <li>・中央公会堂周辺の歩行者空間の利活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市空間へのアートの展開</li> <li>・アートを活用したエリア運営の実現</li> <li>・歩行者空間を含むパブリックスペースの活用案検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中之島特有のパブリックスペースの創造</li> <li>・各エリアにおけるクリエイティビティのネットワーク化によるクオリティコントロールとエリアブランディング</li> </ul>
<b>【エリア運営プログラム数】</b>	[5件以上開催]	[15件以上開催]	[25件以上開催]
<b>【目標3】 グローバル視点での魅力強化</b>	<b>都市型MICE機能の強化</b>	<b>大阪・関西万博開催や未来医療国際拠点開業を契機とした国際的魅力的強化</b>	<b>中之島の魅力の国際的な位置づけ向上</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MICE受入環境の整備</li> <li>・案内板整備などの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官が連携し、国内外の企業が参加する国際的な会議や文化交流イベントを実施</li> <li>・グローバル企業の誘致に向けた取組</li> <li>・グローバル&amp;ハイエンド人材確保に向けた取組</li> <li>・未来医療国際拠点を中心とした医療系MICE拠点に向けた産学官連携</li> <li>・国内外におけるシティプロモーションの展開</li> </ul>	
<b>【国際会議開催数】</b> (比較：2019年の開催数)	[10%増加]	[15%増加]	[20%増加]
<b>【目標4】 ビジネスと居住を支える都市インフラ整備</b>	<b>都市インフラ整備に向けた体制強化</b>	<b>ICTを活用した最先端技術の導入により持続的なまちづくりを推進</b>	<b>スマートアイランドの実現</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各テーマの実装可能性検討</li> <li>・エリアマネジメント団体など各種団体による多様な都市活動の実践でまちに活力を生み出すとともに、地域住民を含めたエリアコミュニティを醸成</li> <li>・他エリア・他団体との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートアイランドの実現に向けた、実証実験の実装や新たな企業・投資の参画を促す仕組みづくり</li> <li>・産学官と地域コミュニティの連携促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様で環境性の高いモビリティが、島内外をシームレスに連携し、快適な移動を実現</li> <li>・エネルギーのネットワーク化やエネルギーマネジメント高度化による脱炭素・持続可能なまちづくりを推進</li> <li>・企業と住民、あるいは住民相互のコミュニケーションの醸成を図り、結束力のあるコミュニティを構築</li> </ul>
<b>【路線価】</b>	[10%上昇]	[15%上昇]	[20%上昇]